# 土曜教育活動



篠山の自然を楽しもう (ワクワク体験教室【愛南町】)

①【新居浜市】	土曜寺子屋教室	62
②【西条市】	けんびワークショップ	63
③【上島町】	上島子ども体験教室	64
④【東温市】	重信わんぱく広場	65
⑤【西予市】	キッズキッチン土曜教室	66
⑥【愛 南 町】	ワクワク体験教室	67

## 土曜寺子屋教室【新居浜市】

### ~人間性豊かな子どもを育てる~

#### ◆活動の目的・理念

- ●「礼を正し、場を清め、時を守る」子どもの育成
- 市内児童の校外生活の充実を図る「学びの場」づくり
- 経験豊かな教育会所属OBの教育愛に基づく知恵と創意を生かした指導

活動場所	新居浜市教	育会館	対象学校区名	ı	市内全小学	校区		子どもの平均 参加人数	38	人/目
開催日数 曜日•時間	土曜日 日·休業日等	27 日 0 日			00 活動のべ 00 日数	27	日	協働活動支援員 のべ人数	48	人
協働活動サポー ターのべ人数	24 人	教員OB			ボランティア のべ人数	57	人	教員OB		
参加者募集	各小学校を通じて 申込書を配布	て募集要項		·協力 ·団体	市内全小学村	交				

#### 取組の概要

#### く主な取組内容>

● 子ども囲碁道場

囲碁のルールの基本から対局。

● 書を楽しむ

毛筆の技術上達を目指す。

● 篠笛は友だち

日本の伝統楽器篠笛の吹き方を習う。

● できる算数教室

計算力のアップを目指す。

#### ● お茶席の作法

簡単なお点前のお稽古。

● 子ども俳句教室俳句の作り方の学習。

● 子ども英語教室

英語の発音に慣れ親しむ。

● 読書の広場

読書活動、読み聞かせ。



(篠笛は友だちでの活動)

#### 児童の感想

- ・囲碁で対局するのが楽しかった。
- ・篠笛できれいな音が出せるようになって嬉しかった。もっと上手に曲を演奏したい。
- ・成果発表会がなくて、お点前ができないのが残念だった。

#### <特色ある取組>

#### ●「成果発表会」の開催

例年、11月に土曜寺子屋教室で学ぶ児童の学習成果を発表する「土曜寺子屋教室成果発表会」を新居浜市文化振興会館にて実施。習字、俳句、本の帯作品展示、英語の自己紹介、算数教室活動感想展示のほか、囲碁対局、篠笛演奏、俳句・英語発表、お茶会などをする。今年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、成果発表会は見送り、3月22~25日に市役所ロビー展で、市民の皆さんに土曜寺子屋教室の活動を紹介する予定。



(できる算数教室での活動)

#### 事業を実施して

#### 【成果】

- 学校の枠を越えてコミュニケーションができた。
- 学校の授業では触れる機会が少ない、お茶や 囲碁、篠笛などを体験できた。

- 講師の高齢化に伴う後継者の育成が求められる。
- 小学校との連携を密にし、情報交換等を進める必要がある。
- 講座数が減少しており、新しい講座を開設する必要がある。

## けんびワークショップ【西条市】

### ~作品鑑賞や様々な創作活動を通しての発見~

#### ◆活動の目的・理念

- ▶ 芸術作品の鑑賞を通して、自分の意見を発表し、自分の意思表示ができるようになる。
- 子どもの豊かな感性や表現力を養う。
- 使ったことのない道具や材料を体験し、制作することの楽しさを味わう。

活動場所	中央公員	己館	対象	学校区名	西乡	条市内全て	の小学	之校	子どもの平均 参加人数	22	人/日
開催日数 曜日•時間	土曜日 日・休業日等	9 日	9 :	30 ∼ ∼	11 : 3	30 活動のべ 日数	9	日	協働活動支援員のべ人数	18	人
協働活動サポー ターのべ人数	人	Н	<u> </u>		•	ボランティアのべ人数	9	人	保護者		
参加者募集	参加者募集 が対象を通じてチラシを配布					中央公民館、	愛媛県	美術館	· 曾学芸員		

#### 取組の概要

<主な取組内容>● 対話型鑑賞プログラム ● 新聞紙で遊ぶ ● 竹の楽器を作る ● 藍染め

工作 クリスマス・ツリー ● 紙版画 ● 段ボール工作 ● 大きな風船



(対話型鑑賞プログラム)





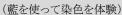




(新聞紙を使って切ったり、丸めたり)

(竹楽器の作成)







(紙版画)





(様々な材料を使った工作)

#### 児童・生徒の感想

- ・自分の感じたことと友達の感じたことがちがうのが面白かった。
- ・竹の楽器はすごくきれいな音がしてうれしかった。
- ・ノコギリを初めて使って大変だったけど、切れた時は気持ち良かった。
- ・いろんな友達ができたし、初めての道具も体験できた。これからももっとやってみたい。
- ・小さい時から作ることが大好きなのでこれからも楽しみです。

#### <特色ある取組>

- 芸術活動、鑑賞のプロが考えたプログラムのため、新しい体験が多い。
- 一般では手に入れにくい材料を使って制作ができる。



(お家にかざれてうれしい)

#### 事業を実施して

【成果】

#### 【課題】

- いろいろな制作体験ができて、楽しく活動ができた。● 制作物等について講師と調整が必要な講座もあるた
- 異なる学校の児童との交流が生まれた。

め、今年の経験を活かし、次年度へつないでいきたい

## 上島子ども体験教室【上島町】

### ~地域ぐるみでふるさとを愛する子どもを育てよう~

#### ◆活動の目的・理念

- 地域資源を活用した体験活動を実施し、子どもの健全育成、ならびに子どもの居場所づくりを進める。
- 特色、魅力ある教育プログラムを企画・実施し、子ども達の成長を支え、地域と学校の連携・協働による教育活動を推進する。

活動場所	町内各施設•	野外等	対象学	<b>华校区名</b>	上島町	丁内	全小学校	(4校)		子どもの平均 参加人数	17	人/目
開催日数 曜日·時間	土曜日 日·休業日等	3 日 日	9 :	30 ~	11 :	30	活動のベ 日数	3	日	協働活動支援員 のべ人数	3	人
協働活動サポーターのべ人数	人						ボランティア のべ人数	5	人	高校生、スクール	サポート	スタッフ
参加者募集	各小学校を通じて	チラシを酢	己布	連携・機関・	·協力 ·団体	地址	或の吹矢部、	、弓削高等	等学校	ξ		

#### 取組の概要

#### <主な取組内容>

#### ● 大きな作品をみんなで作ろう

コロナ禍により、みんなで作業する機会が激減しているため、誰もが気軽に参加できる教室を企画した。5m四方の大きな模造紙に参加者が協力してダイナミックに絵を描いて作品を完成させた。

#### ● 吹矢体験

地域の吹矢部の方から教えてもらい、普段行う機会のないスポーツを体験することができた。また、参加者は、吹矢部の方が考案したミニゲームで盛り上がるとともに、地域の方との交流の場ともなった。

#### ■ 高校生と卓球をしよう

スポーツを通じて、高校生と地域の子どもの交流を深めると同時に、高校 の部活を体験し、高校の魅力やスポーツの良さを体験する場となっていた。

#### 児童・生徒の感想

- 違う学校の子とも仲良くなれたので良かったです。
- みんなで協力して作品が完成できたし、仲良くできて楽しくて良かったです。
- 吹矢を体験することができて良かったです。またやってみたいです。
- ・吹矢を飛ばすのは難しいけど、風船割りは楽しかったです。
- 先生や高校生が優しく教えてくれたから、卓球ができました。



(大きな絵の完成!!)



(吹矢体験)

#### <特色ある取組>

#### ■ 高校生と卓球をしよう

年に1回必ず実施する、『高校生と○○しよう!!』 場所は町内に唯一ある弓削高校で、高校教諭を講師に高校生との体験学習を実施。今年度は卓球教室を開催した。スポーツの魅力を活かし、地元

習を実施。今年度は卓球教室を開催した。スポーツの魅力を活かし、地元にある高校について知ることで、子どもたちの視野を広げることができたらと実施している。「高校生のお姉ちゃんが優しく教えてくれて上手になって嬉しかった」といった低学年の感想もあり、弓削高校の魅力化にもつながっている。



(仲良くなった高校生と集合写真)

#### 事業を実施して

#### 【成果】

- 普段、学校や家庭ではなかなかできない教室を企画し 3密回避と体を動かすことをメインに企画することができた。
- 楽しんで参加してもらえ、活動後のアンケートでは、「また参加したい」と答える児童が多くいた。
- スポーツをすることで、交流が深まり学校毎の垣根がなくなっていた。

- コロナ禍においても実施できる教室を検討する。
- 地域の中の多様な経験や技能を持つ人材を活か した、特色・魅力のある教育プログラムを企画し継 続して実施したい。

## 重信わんぱく広場【東温市】

### ~体験活動を通じて、わんぱくキッズを育てよう~

#### ◆活動の目的・理念

- ●土曜日の教育環境を豊かなものにする。
- ●体験活動を通じて、地域の自然や文化を再認識する。
- ●想像力や健全な心身を養い、地域との交流を図る。

活動場所	東温市中央	公民館	対象学	校区名	東温市立	∑北吉井 ▼志小学	-小学校、東温市 -校、東温市立上	立南吉井小学村 林小学校	交、東	子どもの平均 参加人数	24	人/目
開催日数 曜日·時間	土曜日 日·休業日等	8 日	9:	00 ~ ~	12 :	00	活動のベ 日数	8	日	協働活動支援員 のべ人数		人
協働活動サポー ターのべ人数	10 人	地域住民	、社会丿	、大学	生		ボランティア のべ人数	13	人	地域住民、企業		
	年度初めに各小学		てチラ	連携・機関・			显市生活研究	究協議会、	四目	国電力ほか		

#### 取組の概要

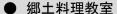
#### <主な取組内容>

● カルトナージュ教室

フランス伝統手工芸「カルトナージュ」に挑戦した。厚紙を組立て、装飾し、ペン立てを作成した。

#### ● 国際交流教室

外国人講師を招いて英語を使ったレクリエーションゲームを行った。英語を 学ぶだけでなく、グループ間で話し合いを行うなどコミュニケーション能力を 高める良い機会になった。



東温市生活研究協議会の方々の指導の下、東温市の特産品である「もち 麦」を使用した蒸しパン、炊き込みごはんを作った。それぞれが役割を分 担して作業を行い、「東温市の特産品について知ることができた。」といった感想があるなど、子どもたちにとって食に関する関心が深まる機会となった。



(国際交流教室)



(郷土料理教室)

#### <特色ある取組>

● SDGsお買い物ゲーム

食品ロスがとても多く出ていることや世界では飢餓に苦しむ子どもたちが大勢いる等、環境・人・地域を大切にしながら行動することを学んだ。グループに分かれ、カレーを作ろうというワークショップを行い、なぜこの商品を選択したのかという理由を考え、環境、値段、安全等の様々な意見が出た。



(SDGsお買い物ゲーム)

#### 事業を実施して

#### 【成果】

- 料理、環境、工作など、活動内容は多種多様で、 子どもたちにとって様々な学びになっている。
- 地域団体や地元企業の協力を得て、子どもたちが 豊かな体験や経験を重ねることができている。

#### 【課題】

■ 講座の安心・安全な運営を行なう上で、協力者の 人数確保が必要である。

## キッズキッチン土曜教室【西予市】

### ~料理ってたのしい!だいどころはしあわせをつくるばしょ~

#### ◆活動の目的・理念

- 子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所づくり
- 学校・家庭・地域の連携による教室づくり
- 土曜日等の豊かな教育活動を推進する

活動場所	俵津公民館、西予下センター、野村公民 民館、三瓶保健福祉 ター	市教育保健 :館、魚成公 业総合セン	教育保健 言、魚成公 総合セン 対象学校区名 ::				・野村・大野	・宇和町・田 テヶ原・惣川・	子どもの平均 参加人数	12	人/目
開催日数 曜日·時間	土曜日 日·休業日等	5 日	9:	00 ~	13 :	00	活動のベ 日数	5 目	協働活動支援員 のべ人数	20	人
協働活動サポー ターのべ人数	人						ボランティア のべ人数	人			
参加者募集	各小学校を通じて 行事によってはそ				·協力 •団体		小学校、食育		<b>美</b> 部会地産地消推	進班	

#### 取組の概要

#### <主な取組内容>

#### ● 旬を知る

- ・旬彩旬食マップを活用して、市内の海から山まで季節ごとにどんな食材が採れるかを学ぶ。
- ・地産地消の歌について学ぶ。

#### ● 旬の食材を使って調理をする

・市内で採れた食材を使って、支援員の方々に食材や調理方法について教えてもらいながら、 同級生や下級生、上級生と一緒に班で協力しながら調理をする。

#### ● 食す・片付け・反省

・参加者全員で調理したものを一緒に食べ、自分たちで片付けを行い、その後反省をする。

#### 児童・生徒の感想

- ・金曜日は地産地消の日だと知ったので、家族に教えたい。
- ・西予市で栽培されているものがこんなにも多くあり、食べ物がいっぱいとれることがわかった。
- ・おにぎらずを作るのは難しかったけど、みんなと協力して作れたのはとても楽しかった。
- 家でもこの料理をつくりたい。



(調理実習の様子)

#### <特色ある取組>

#### ● 食育学習(地産地消)

- ・西予市内で採れる食材について学び、それを使って調理して食べる。
- ・西予市の特産品や地域の良さを発見し誇りをもつ。



(食育学習の様子)

#### 事業を実施して

#### 【成果】

- みんなで協力し、楽しく料理することができた。
- 家でも料理をしたいという気持ちが芽生えた。
- 自分で調理してみて難しさがわかり、家の人への感謝の気持ちをもつことができた。

- 指導者の確保
- 低学年への対応
- 新型コロナウイルス感染症に対する対策

## ワクワク体験教室【愛南町】

### ~愛南町を愛する子どもを育てよう~

#### ◆活動の目的・理念

- 子どもたちに、学校の教育課程に留まらない体験的な活動、補充・発展的な学習を提供する。
- 子どもたちの心身の健やかな成長を支援する。
- 地域の豊かな自然を舞台として、専門的な知識を持つ指導者から学ぶ機会を提供することで、子どもたちに郷土愛を醸成する。

活動場所	活動によって	異なる	対象学校区	名 愛南町:	全小中学校			子どもの平均 参加人数	15	人/日
開催日数 曜日·時間	土曜日 日·休業日等	1 日 2 日	活動によっ	って異なる	る 活動のベ <sub>日数</sub>	3	田	協働活動支援員 のべ人数	5	人
協働活動サポー ターのべ人数	8 人	元教員、ラ	元公務員 等		ボランティア のべ人数	2	人			
参加者募集	各小・中学校を 配布	通じてチラ		·協力 ·団体	各小•中学校	、各公民	館	等		

#### 取組の概要

#### <主な取組内容>

● ドローンに挑戦しよう!





#### (感想)

・ドローンを使ったり、プログラミングのことを知れて

良かった。

・ドローンでプログラミングをしたことがなかった

#### ● スラックラインに挑戦しよう





#### (感想)

・ロープの上でバランスをとるのが難しかったけど楽

しかった。

・最初は怖かったけど、とても楽しかった。また

#### <特色ある取組>

● 篠山の自然を楽しもう

町内にある篠山(標高約1,065m)への登山を行った。

一帯は国立公園、県立自然公園に指定されており、アケボノツツジなどの自然植物の宝庫で、古くから山岳信仰の霊地として知られた山である。 子どもたちは、環境省自然保護官から害獣から篠山の自然を守るための取り組みや自生する植物などについてクイズ形式で学びながら、頂上を目指した。

1時間程歩いて到達した頂上では、そのすばらしい眺めに皆歓声をあげ、 笑顔があふれていた。



(自然保護官による クイズに挑戦する子どもたち)

#### 事業を実施して

#### 【成果】

- 子どもたちに様々な体験を提供することができた。
- 愛南町の自然に子どもたちを触れ合わせることができた。
- 子どもたちの輝く笑顔を見ることができた。

- 日程の調整や参加者集めが難しいが、各機関と連絡調整を行い、参加しやすい日程や時間の設定に努める。
- 参加者が固定化しないよう、教室の内容の充実と活動 を周知し、幅広い参加者集めに努める。